

平成30年度 当初予算

168億6,000万円

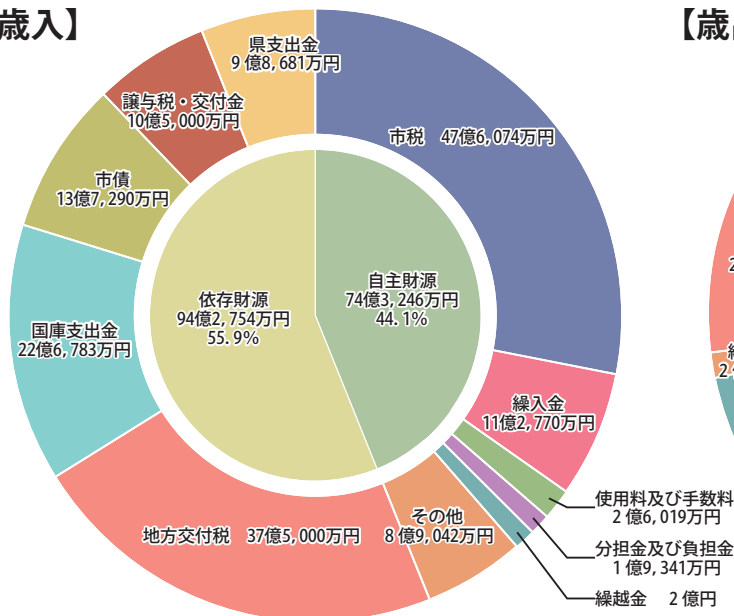
[昨年度より6,000万円UP ↗]

【問】 財政課 財政係

本年度は、市民福祉の向上を引き続き推進しながら、第10次基本計画ならびに小諸市版総合戦略に基づき、「東南部地区（谷地原区周辺）に重点をおいた定住促進」と自主財源確保を図るための未来への投資として、「新たな産業団地造成に向けた取組み」に着手します。

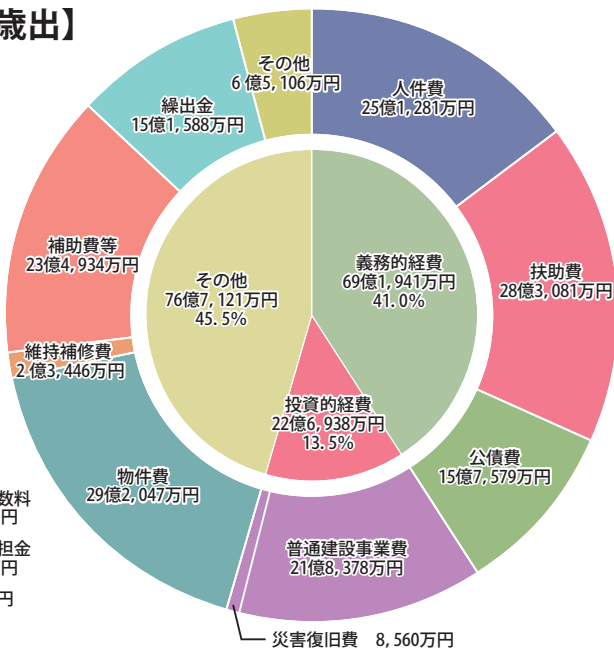
また、「複合型中心拠点誘導施設整備構想」に関連する経費や「あぐりの湯こもろの大規模改修（29年度予算で対応）」など、限られた財源の中で、小諸市の将来にとって必要な投資に予算措置を講じました。

【歳入】



「市税」は、総務省が示す地方財政収支見通しによると、全国的に増収が見込まれています。市では、昨年度の収入実績等を考慮して、前年度比0.2%増として計上しました。

【歳出】



「扶助費」には、新たにひまわり園の放課後等デイサービス機能の追加に伴う経費を計上しました。

一般会計のほかに、自治体には「特別会計」や「企業会計」があります。特別会計とは、特定の事業や資金運用の状況を明確化したものです。

特別会計

国民健康保険事業	43億8,900万円
後期高齢者医療	4億5,400万円
介護保険事業	38億6,200万円
奨学資金	692万円
住宅新築資金等貸付事業	6,300万円
小諸公園事業	1億3,200万円
野生鳥獣商品化施設運営事業	1,750万円

企業会計

水道事業会計	収 益	収 入	9億6,306万円
		支 出	9億1,027万円
	資 本	収 入	2億3,846万円
		支 出	5億3,265万円
公共下水道事業会計	収 益	収 入	12億1,089万円
		支 出	11億8,047万円
	資 本	収 入	6億5,603万円
		支 出	10億6,329万円
農業集落排水事業会計	収 益	収 入	3億3,824万円
		支 出	3億3,820万円
	資 本	収 入	3,929万円
		支 出	1億453万円

用語解説

- 【歳入】
- 繰入金 特別会計や基金から一般会計に繰り入れるもの
 - 市債 資金調達のための借入金（借金）
 - 地方交付税 財政力に応じて国から交付されるお金

- 【歳出】
- 扶助費 高齢者、児童、障がい者等に行う支援のための経費
 - 公債費 借入金（借金）の元金・利子を支払う経費
 - 物件費 委託料、賃金、備品購入などを支払う経費